

鳥取県生活環境部指定管理施設運営評価委員会評価報告書

鳥取県生活環境部指定管理施設運営評価委員会（以下「評価委員会」という。）として、次のとおり指定管理者による鳥取県立東郷湖羽合臨海公園（引地地区に限る。）の管理運営状況を評価した。

- 1 対象施設
鳥取県立東郷湖羽合臨海公園（引地地区に限る。）
- 2 指定管理者
一般財団法人鳥取県観光事業団
- 3 指定管理期間
平成31年4月1日から令和6年3月31日

4 評価委員会

- (1) 開催日 令和4年9月9日
- (2) 開催場所 中国庭園燕趙園
- (3) 評価委員

氏名	所属及び役職名
竹内 由佳	鳥取環境大学大学院 環境経営研究科 准教授
宮城 律子（委員長）	税理士法人阪本会計 税理士
若山 訓	湯梨浜町観光協会 事務局長
久保島 宏	株式会社JTB鳥取支店 支店長
坂口 貴志（副委員長）	鳥取県生活環境部 次長

(4) 評価方法

令和元年度から令和3年度分の指定管理者から提出された事業報告及び各年度の県による評価結果、施設内視察等に基づき、各委員が以下の審査項目ごとに評価を行った。

評価は、「2、1、0、△1、△2」の5段階で行い、5人の委員の平均で決定した。

審査項目	主な審査内容
施設設備の維持管理の状況	・施設設備の保守管理・修繕 ・施設の保安警備、清掃等 ・事故の防止措置、緊急時の対応
利用者サービス等の状況	・開園時間、休園日、利用料金等 ・利用者へのサービス提供・向上策 ・利用者意見の把握・対応
施設の利用状況、収入支出の状況	・施設の利用状況 ・利用の許可、利用料金の徴収、減免の状況 ・収入支出の状況
職員の配置	・事業計画で定めた職員配置となっているか、独自の判断での加配の有無 等
法令等の遵守	・関係法令（労働関係、環境関連法令、その他）に係る行政指導等の有無 等
県の施策への協力	・障がい者就労施設への発注 等

【評価指標】

- 2：協定書の内容について高レベルで実施されており、また、計画を上回る実績があり、特に優れた管理運営がなされている。
- 1：協定書の内容を上回るレベルで実施されており、優れた管理運営がなされている。
- 0：おおむね協定書の内容どおり実施されており、適切な管理が行われている。
- △1：一部、改善・工夫を要する事項が見られたが、改善済み又は改善される見込みである。
- △2：協定書の内容に対し、不適切な事項が認められ、大いに改善を要する。

(5) 評価結果

ア 評価点数

指定管理者による東郷湖羽合臨海公園（引地地区に限る。）の管理運営状況の評価は「0」と決定した

審査項目	評価点数（5人の委員の平均）
施設設備の維持管理の状況	0.60
利用者サービス等の状況	0.40
施設の利用状況、収入支出の状況	0.20
職員の配置	0.20
法令等の遵守	0.40
県の施策への協力	0.60
総括	0.40

(注) 総括の評価は0.40となり、委員協議の結果、5段階のうち「0」と決定

イ 運営評価委員からの主な意見

(施設設備の維持管理の状況)

- ・施設内外ともに清潔に保たれており、園内の事故防止（スリップや転倒等）にも配慮できている。
- ・さらに、年輩者のことを考えた注意案内等の事故防止策を行っていただきたい。

(利用者サービス等の状況)

- ・アンケート結果の分析が今後の方針やコンセプトを決める鍵になる。データの数を集めるだけでなく、都道府県別の来園者数と来園目的を関連付ける等、2つのデータを組み合わせた結果に注意していただきたい。
- ・アンケートデータは、どう活用するかが大切になる。データを取るだけにせず、専門家の手を借りてでも、データを分析し、燕趙園のために生かしてほしい。アンケートの取り方をQRコード読み込み等にとすると、もっと多くの人に答えてもらえるのではないかな。
- ・地元の方にイベント利用していただく意味合いが強まりすぎると、一体何の施設であるかが不明確になるため、この施設の強みを常に意識して、忘れないようにしていただきたい。
- ・中部地方の中高生の心に残るようなイベントを計画していただきたい。
- ・地元のにぎわいを作る中枢としての役割の中で、地元（県内）向けには、子ども向けのイベント等、入園料収入がなくとも、人が集まり、売店収入を得られる取組をし続けてほしい。また、県外向けには、観光地として、周りの観光施設等と協力し、“見せる”＝“魅せる”施設となる必要がある。
- ・売店は、収入源になり得る。美味しいものがある所は、多少遠くても人が集まるので、がんばっていただきたい。
- ・定期的なイベントも行われており集客努力ができているが、入園料が少し安いと思われるため、改定の検討が必要。
- ・広告・宣伝、特にWeb系はもっと利用度を高める必要がある。また、ホームページを利用したWebアンケートをしてもよいのではないかな。
- ・集客のため努力されているが、一層の分析、対策が望まれる。

(施設の利用状況、収入支出の状況)

- ・グラウンドゴルフ等の利用に関して一定の料金を徴収すべき。
- ・コロナ禍という環境下では入場者数は健闘されている。
- ・収支バランスとしては概ね良好。永続的に維持いただくことが大切で、プラスマイナスゼロの運営でも良い。

(職員の配置)

- ・観光施設には専属のWeb担当が必要。
- ・SNSの有効活用を進めるにはもう少し人員が必要。